



『生活支援体制整備』事業について

大上地区社協会員の皆さん今、地域づくりによる介護予防推進事業が推進されていますがご存知でしょうか。これは、少子高齢化が進み財政が困窮してしまうためサービスは専門的に、住民は社会参加の場を増やして皆で助け合う、地域生活支援体制を作ろうと言うものです。平成30年4月1日から始まる「介護保険制度における地域支援事業の整備」に向けた取り組みです。綾瀬市では、「生活支援体制整備事業」として綾瀬市高齢介護課・各地区地域包括支援センター（4者）・綾瀬市社会福祉協議会の6者でプロジェクトチームを組み取り組んでいます。そして、「プロジェクトチーム」から協議体を作ってほしいと投げかけられています。

協議体とは、地域で暮らす者が「今行っている様々な活動の情報を持ち寄り共有化して更に新しい情報を持つ人がいればその人に協力してもらおう。また、新しい仕組みを作らなければ解決できない事は行政に対して皆の考えを寄せ合ってみようというものです。即ち地域で暮らす者が「今やっている事、今出来る事を無理なく皆で話合う場（協議体という）を地域の様々な団体、事業所、個人で作って行く」というものです。「できる事」を見つけ「目標」を決め「やりたい人」を集め実施する。住民が主役で皆で協力し自分たちで解決するものです。

参加資格は地域に関わる人全員です。団体、事業者、学校、施設等も含まれます。

歩みとして、生活支援体制整備事業講演会がH28/11/21地区社協対象で行われ、モデル地区として寺尾南、吉岡、上土棚地区が立ち上がり各地区の「ささえあい井戸端会議」ミニシンポジウム発表会が開催されました。「ささえあい井戸端会議」は自治会、地区社協、民児委員、福祉施設、地域包括支援センターのメンバーで立上げています。地域の共通意識、特徴、課題の共有を図るため、毎月一回定期的に行っています。

早急に、大上地区社協会員の知恵で、協議体を立上げ生活支援体制を作り上げたいと思います。ご支援、ご協力をお願いいたします。

「誰でも作れる簡単料理」講習会

9月16日（土曜日）に高齢者部会が主催した「誰でも作れる簡単料理」の講習会が行われました。台風接近の情報もあり心配されましたが、予定時間の午前10時には30名（男性8名、女性22名）の参加者がありました。今回のメニューは【サラダソーメン・はんぺんのチーズ焼き・ゴーヤジュース】で、実演指導を見ながら一緒に作っていました。

恒例となった食事前の健康体操のあと、全員が揃って自分たちの作った料理と歓談を楽しみました。ゴーヤジュースも好評で、覚えたから自分で作ろうとの声も聞かれました。



料理をするみなさん

大上地区社協功労者が表彰される

綾瀬市社会福祉表彰式は、9月24日（日）午前10時からオーエンス文化会館小ホールに古塩市長、増田市社協会長など関係者多数が出席して行なわれました。

この表彰式は、綾瀬市と市社会福祉協議会が主催して毎年行なわれ、地域福祉活動に永年にわたって功労のあった団体と個人を表彰するもので、大上地区社協に功労の中澤文雄氏、平吾範子氏が表彰されました。



表彰された両氏

“笑いとおしゃべりいっぱい市..のお知らせ

11月5日(日) 11:00~14:00 「ふれあいの家」で開催されます。

大上太鼓・フラダンス・踊り・3B体操などのステージを楽しみましょう。地域の方々との交流の場です。みなさんお誘いあわせてお出かけください。

